

**創業20周年を迎えたカフェ・カンパニーは、
ロゴを変更し、未来の社会をデザインしていく「イートテック」パートナーとして
株式会社リバナスと業務提携契約を締結。**

**食を通じたサステナブルな社会の実現に貢献する、
「Eating Design Company」を目指します。**

カフェ・カンパニー株式会社（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：楠本修二郎／以下、カフェ・カンパニー）は、2021年6月21日（月）に創業20周年を迎え、コーポレートロゴを変更し、株式会社リバナス（所在地：東京都新宿区、代表取締役グループCEO：丸幸弘／以下、リバナス）と業務提携契約を締結。これを皮切りに、あらゆるテクノロジーを活用して生活者の美味しい時間と空間の創造、及び、心と体の健康に寄与しながら食の持続可能性に貢献していきます。



Community Access For Everyone

食の『おいしい』は、地域性、生活、歴史、その人の記憶によって様々。

そのグラデーションを一つひとつ丁寧に織りなしながら、

次の時代に向けた EATING DESIGN を、私たち社員一人ひとりが

その個性を発揮してチャレンジしてゆきたい。

そういう願いを込めてコーポレートロゴを変更いたします。

今回発表したのは7つのグラデーション。

自然の色の移り変わりからインスパイアされた多様性を表現しました。

カフェ・カンパニーは、2001年の創業以来、「CAFE = Community Access For Everyone（食を通じたコミュニティの創造）」という企業理念を実現すべく、路面や商業施設内の飲食店、サービスエリア、ホテルなど、「WIRED CAFE」を中心に、日本国内外において、延べ100店舗以上を企画・運営してまいりました。

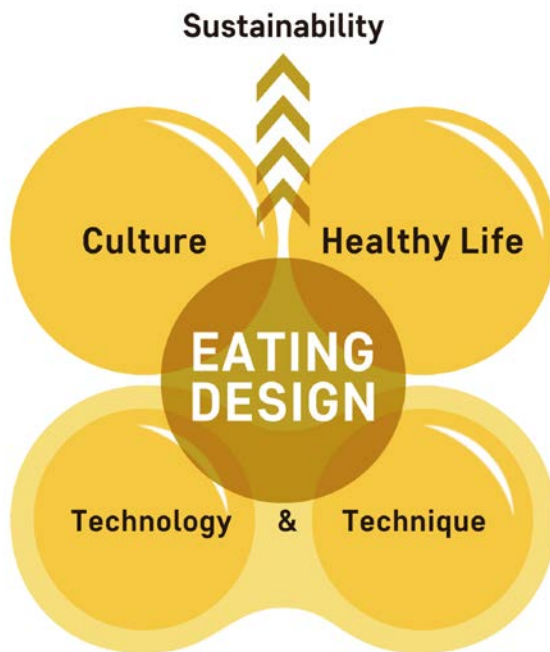
時代の変化によって、求められるコミュニティのカタチは変わります。

これからの20年、私たちの「C.A.F.E」という企業理念は変えることなく、今後の人類にとって必要不可欠な食を通じた多様でサステナブルな社会の実現するため、「イートテック」を推進するすることで「Eating Design Company」を目指してまいります。

何故、「イートテック」なのか。

昨今、盛り上がりを見せている「フードテック」も内包し、これまで飲食店の出前事業のDXサポートなど、狭義な意味として使用されることが多かった「イートテック」という概念を、より美味しく、より健康的に、「食べる時間と空間」の文化的な貢献やコミュニケーション機会などを増幅する活動として再定義（アップデート）します。

「イートテック=食べることの進化」を通じて社会の在り方をデザインし、日本の食文化、そして、世界の食の持続可能性に貢献する「Eating Design Company」を目指します。



© 2021 CAFE COMPANY Inc.

リバネスと業務提携。

テクノロジーを活用し、「食べる」という行為を通じて世界の持続可能性に貢献する。



テクノロジーでイノベーションを創出し続けている研究者（科学者）集団であるリバネスとの業務提携により、両社の強みを活かし、日本が世界に対して優位性を持つ食文化の更なる発展に寄与する技術革新とライフスタイルの提案を行ない、多様なコミュニティを共創していきます。

カフェ・カンパニーが運営する「WIRED CAFE」などのカフェは、人と人との新しい繋がりをデザインする場として実証実験を開始していく他、サステナブルフードの商品開発も進めてまいります。また、リバネスが主催・運営する「未解決の課題を科学技術の集合体で解決する取り組み『テックプランター』のフードテックグランプリ」にパートナー企業としても参画いたします。

